

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

## 令和 8 年度工学研究科博士前期課程入学試験問題

# 小 論 文

### 注意事項

- 1 問題解答冊子 1 冊が配られているか確認すること。
- 2 開始の合図があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 問題解答冊子（3 ページよりなる）の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は，手を挙げて監督者に知らせること。
- 4 解答は所定の欄に記入すること。
- 5 問題解答冊子には表紙 1 箇所，解答用紙 2 箇所に受験番号を記入する欄がある。開始後直ちに記入すること。
- 6 問題解答冊子の余白等は適宜利用してよいが，どのページも切り離してはいけない。

【小論文】

これからの研究者・エンジニアには、少子高齢化、環境問題の深刻化、およびデジタル化の進展といった転換期を迎えた社会状況で、多様化する広範な科学・技術を駆使して活躍していく能力が必要とされる。このような背景を踏まえて、兵庫県立大学大学院工学研究科では以下に示す4X(DX, GX, LX, MX)に重点をおいた教育研究活動を実践し、4Xを融合した問題解決力や変革力をもつ有能な人材の育成を目指している。

DX： デジタル技術の活用による Digital Transformation

GX： 持続可能な脱炭素社会実現に向けた Green Transformation

LX： 生活の質 (Quality of Life, QOL) の向上をもたらす Life Transformation

MX： 社会を支える環境や人にやさしい Material/ものづくり Transformation

4Xのうち少なくとも1つに関連づけて、大学院進学後（さらにその先の就職や進学を見据えてもよい）にどのような研究者・エンジニアになりたいのか、またそこにいたり着くための課題について600字程度で説明しなさい。なお、自ら実施を予定している研究内容の詳細な紹介は不要とする。

令和8年度 工学研究科 博士前期課程入学試験問題 小論文

「出題の意図」

以下の3点を、論理的に説明できるか、正しい日本語で記述できるかをみた。

1. 4X (DX, GX, LX, MX) またはその関連分野に対する知識
2. 目指すべきエンジニア・研究者としての自身の将来像
3. 当該将来像に向けた現状分析